



の前の業務に必死でした。医療系の職種は感染症対応だけでなく大きな災害が発生すると他県であってもすぐに現地に赴いて被災者を支援します。そんなときに、私たち行政職は、すみやかに関係各所と調整をしたり必要な物資を調達したりします。パンデミックや災害、どんな困難な事案が発生しても多様な職種からなるチームで柔軟に対応することで大きな目的を果たすことができる、ということを実体験として経験しました。私一人の力は小さいですが「誰かのために、みんなでやり遂げる！」県の仕事のそんなところにやりがいを感じています。

**安藤**●私も周りの仲間の支えがあるので、前向きに児童福祉の仕事に取り組んでいます。児童虐待に関する対応や子育てに関する相談を受けて親子が安心して生活できるよう支援する仕事をしていますが、難しい課題に向き合う中、未熟な私自身がマイナス感情に陥ってしまうこともあります。そんなとき、上司や同僚が私の気持ちも受け止めて的確なアドバイスと一緒に優しい言葉で勇気づけてくれるので、新しい気づきがあり、自身の考えがまとまります。先輩方のように一人一人に寄り添える力を身につけられるよう、まだまだ勉強中ですが少しずつできることが増えています。

**山下**●行政職ならではの仕事をしたいと思い、市町村課への配属を希望しました。市町村から議会制度や住民監査請求といった地方自治制度の法的な解釈などについて相談・質問を受けています。住民の暮らしに直結することなので、法律や条例等を正確に説明することが重要ですが、大学で法律を専攻していなかったのが最初は手探りの状態でした。それでも業務に取り組むうち「この質問は前に勉強したあの判例が使えるな」とか、昨日より今日、今日より明日という感じで自信を持って回答できるようになってきました。今は知識が蓄積されていくことに面白さを感じています。何十人という職員が集まり一体となって着実に事務を遂行する選挙の仕事も経験しました。どれも行政でなければできない経験で自分の財産になったと思います。

**坪井**●私は、この4月に本庁から異動し、建築事務所で地元企業などが行う開発計画について都市計画法に基づく審査をしています。広大な土地に新しい建築物が生まれ、そのまちの景観となって、住民の暮らしや経済にも影響していく。まちを変える大きなプロジェクトに関わる業務なので責任を感じますが、これまで本庁で建築基準法等を扱ってきた経験が活かしています。5年後、10年後を見据えた都市計画に向き合うとき、まちの新しい歴史の始まりに立って遠い未来を見ている、そんな気持ちになります。建築職としてすごくワクワクする瞬間です。

## 休暇も取得しやすい雰囲気

### ― 職場のサポート

**屋敷**●新人の頃は周りが忙しそうだと、今声をかけていいのかなと迷うことがあったんですが、上司から「みんなで仕事をしているんだからね。一人で抱え込まずに何でも相談してね。」と声をかけてもらいました。今は自分がそんなふうに周囲を助けていきたいと思っています。

**山下**●すぐ隣の先輩に仕事の仕方や制度のことなどをじっくり教えてもらいました。一年間は職場でのOJTと外部研修があって、分からないことは聞きながら、じっくり学びながら仕事に向かうことができました。

**安藤**●入庁当初は、月に一度ミーティングの機会を設けてもらい、そこで仕事の進捗や困りごとを上司に共有していました。緊張感がありましたが、常に上司が相談に乗ってくださるので安心感をもって一年目を乗り越えられました。専門スキルの習得では、相談援助技術はもちろん、法律やルールも体系的に学べる環境です。児童福祉の仕事の全体研修だけでなく、職場内研修もあるので充実しています。

**坪井**●建築職同士のつながりで、分からないことは、その分野に詳しい先輩に教えてもらうことが多いです。連帯感があり心強いです。数年前に一級建築士の資格を取得したのですが、資格取得に向けた費用の一部は補助があり、制度的なサポートもあって恵まれた環境です。同じように資格取得の勉強をしている同僚には、つい、仕事中に「あ、こういう規制は試験にでるよね！」とか、つぶやいています。仲間と励まし合いながら資格を取得できるのは建築職ならではの推しポイントです！それから、建築職の上席の方々は、皆さんニコニコしていらして、とても話しやすい方ばかりですが、建築についての知識はとても深く、難しい資格も数々取得されていて、すごいんです。私が憧れている女性建築職の先輩は、子育てしながらパワフルに第一線で活躍されていて素敵です。そういった存在が身近にいたことが、モチベーションアップにつながっています。プライベートも充実できるように、先輩方から休暇取得をすすめてくださるというのもうれしいですね。

**屋敷**●私も、上司や先輩から休暇を取れているか声をかけてもらえます。組織として休暇取得計画を定めています。制度そのものだけではなく、実際に休みやすい雰囲気がありますね。



**安藤**●やむを得ず遅い時間帯の業務になることもありますが、その分、仕事が片づいた日は午後からお休みをもらったりして柔軟な働き方ができています。子ども相談センターの皆さんは、お互いの状況をよく知ろうとしてくださる方ばかりなので、しんどい業務をしたときも所内には穏やかな空気が流れていてホッとします。

## きっと自分に合う仕事に出会える

### ― 読者に伝えたいこと

**屋敷**●チャレンジ精神のある方は大歓迎ですし、やりたいことがいくつもあってひとつに絞りがきれないという方も、岐阜県ならきっと自分に合う仕事に出会えます。

**山下**●清流長良川や世界農業遺産の鮎、北には3,000m級の山々と世界遺産の白川郷…岐阜県の自然・伝統・暮らしを守るスケールの



## 岐阜県の仕事をもっと詳しく知る

### 職種別業務内容



### 県の組織



## 読者に伝えたい

## 岐阜県の仕事 私たちの推しポイント！

みんなで  
「目標達成」できるところ、  
おススメします！

岐阜県ならではの  
「面白い」経験が  
できるところ！

福祉の職場の  
「安心感」  
を知ってほしい！

新しいまちづくりの  
「はじまり」に  
出会えます！

